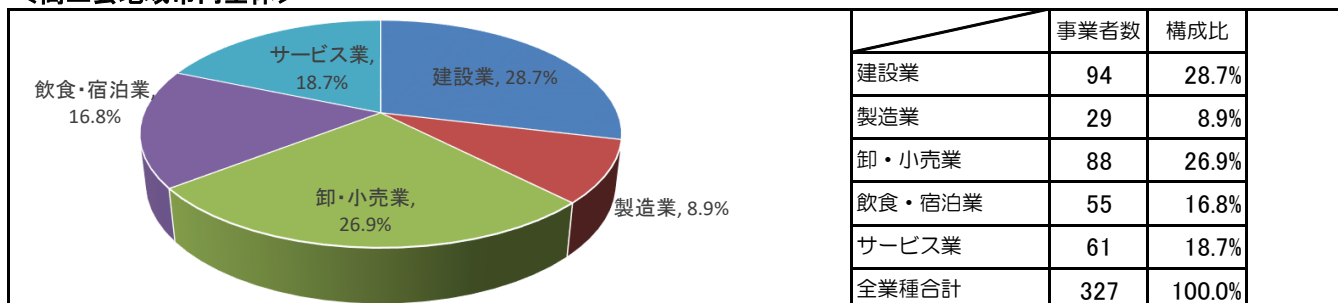


十日町市商工会地域 企業景況調査 第1四半期報告書（H29.4.1～H29.6.30）水沢地区

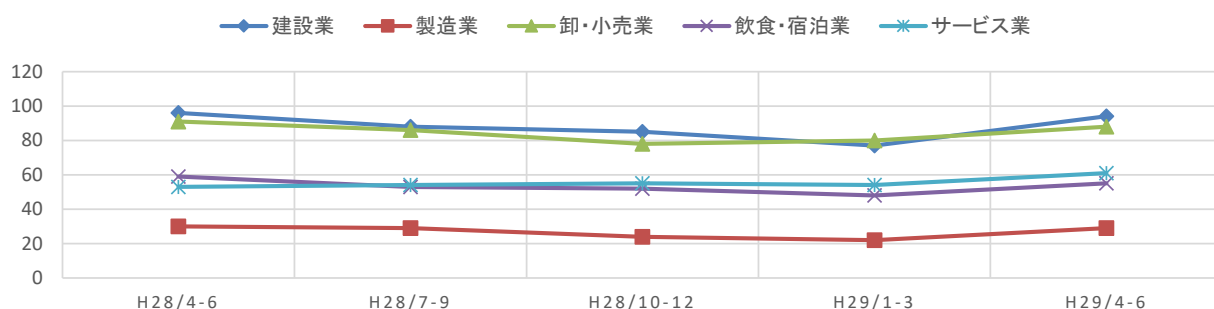
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



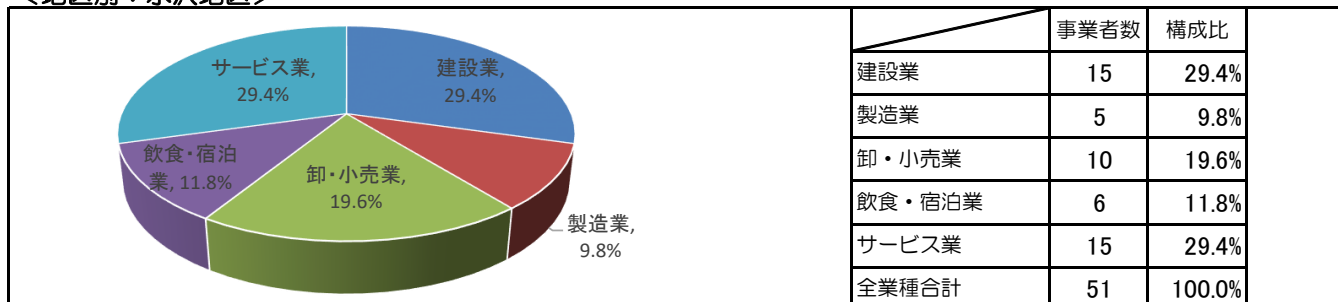
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



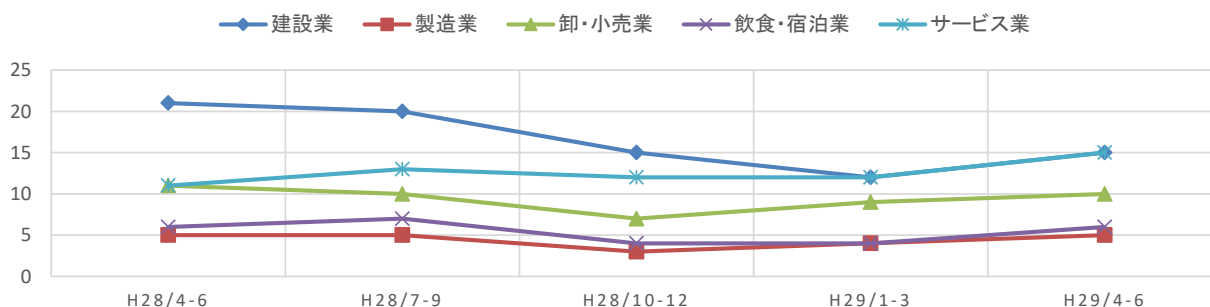
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約31%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：水沢地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

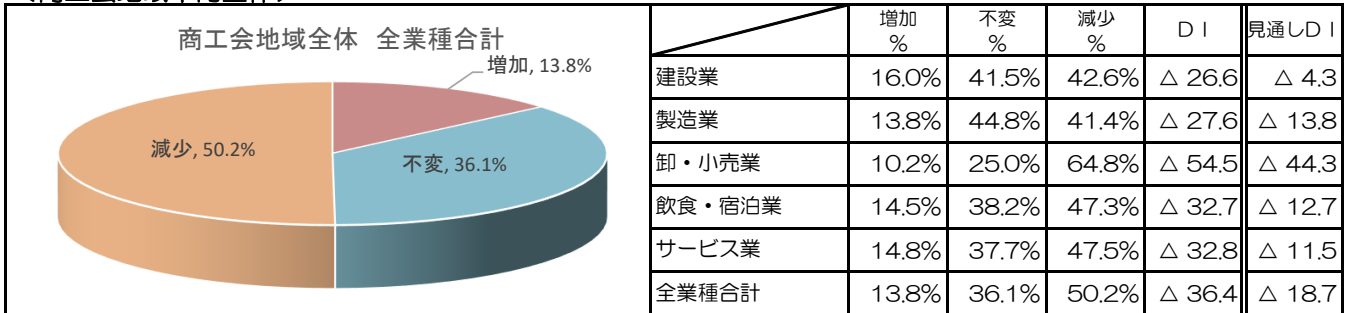
当地区会員163事業所に調査票を配布し、51事業所から回答を得た。（回答率31.2%）構成比率は建設業29.4%、製造業9.8%、卸・小売業19.6%、飲食・宿泊業11.8%、サービス業は29.4%であり、前回調査時とほぼ同様の構成比率であった。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

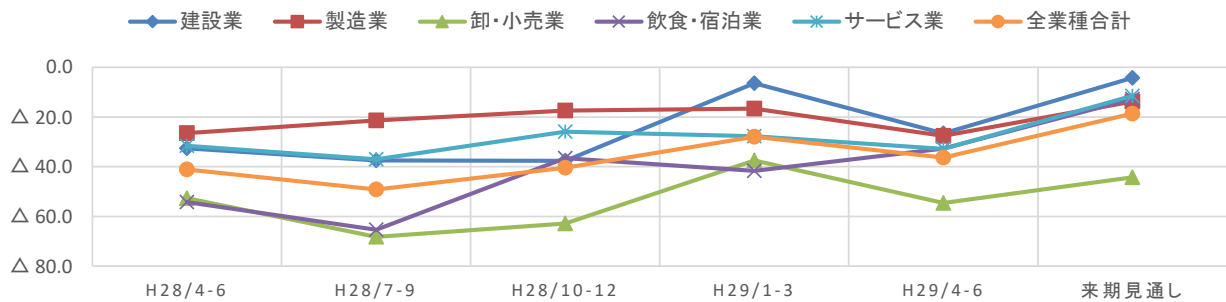
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



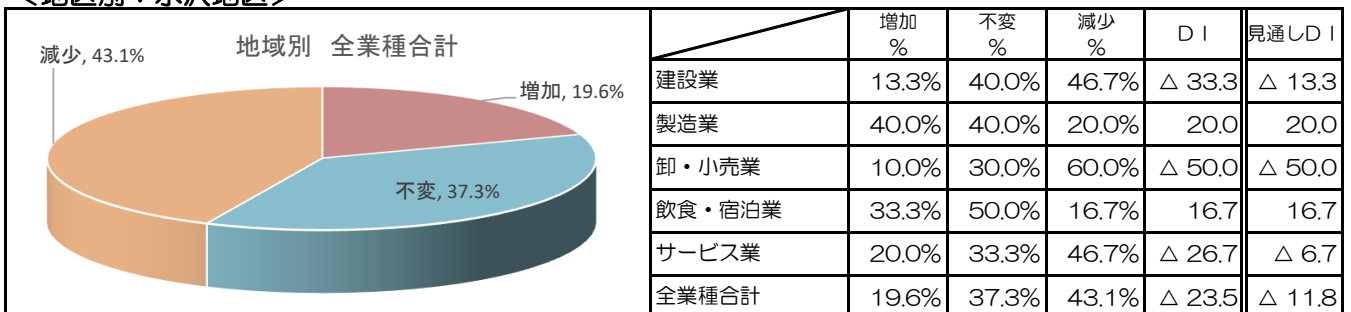
業種別売上の推移（市内全体）



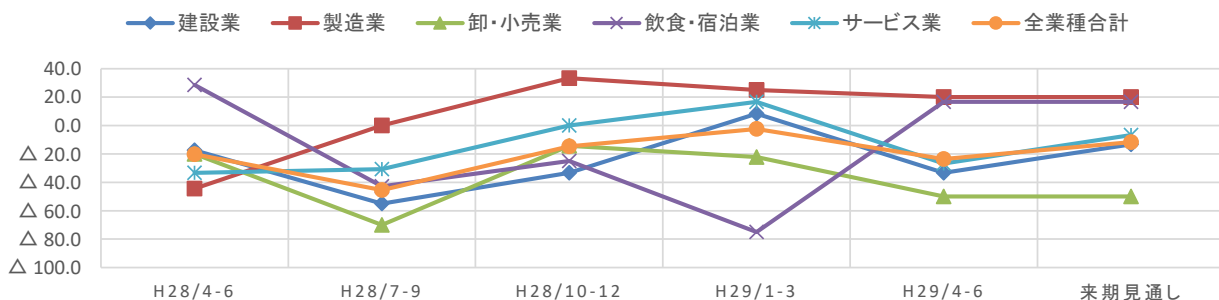
<コメント>

売上は、プレミアム商品券の使用期間中であったものの、前年同期と比較して、全業種で△36.4ポイント減少。特に卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しは、全業種で17.7ポイント改善を予想。特に、建設業は22.3ポイント改善を予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別売上の推移（地区別）



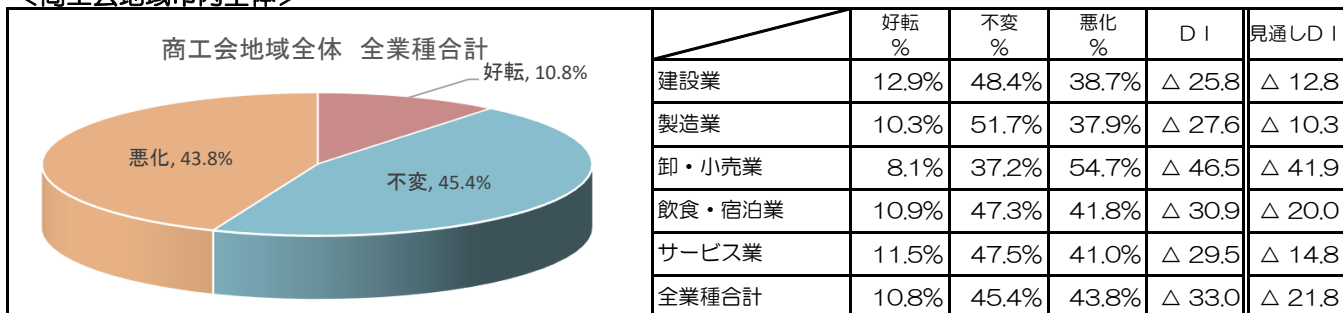
<コメント>

当地区の売上は、前年同期と比較して、全業種で△23.5ポイント減少。業種別に見ると、地域内全体と同様に、卸・小売業が△50ポイント減少と目立つ。製造業は20ポイント、飲食・宿泊業は16.7ポイントと増加しており、飲食・宿泊業についてはプレミアム商品券の利用とGWの大型連休等でお客が増加したと思われる。建設業・サービス業については減少しており売上の確保に苦慮している。来期の見通しは、全業種で△11.8ポイント減少の見通しであるが、今期から11.7ポイント改善を予想している。

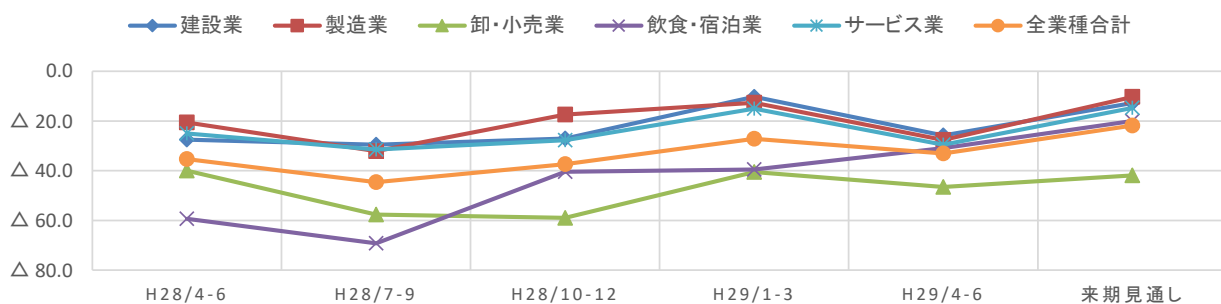
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



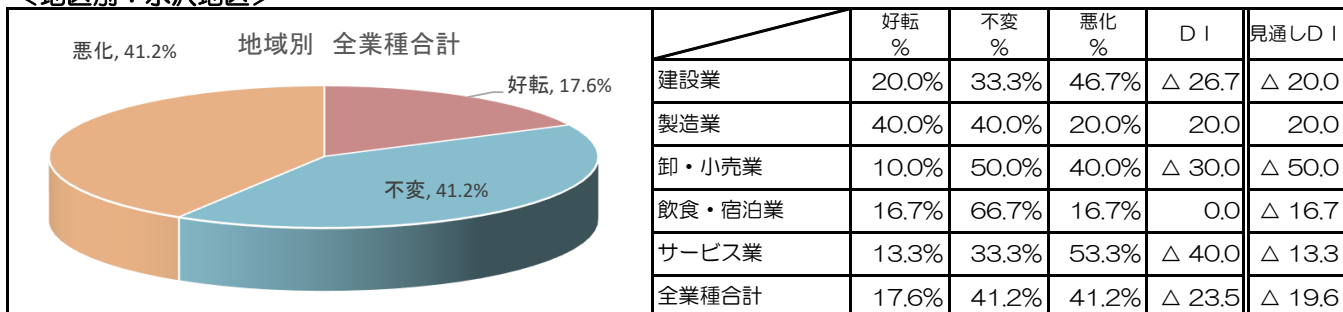
業種別採算の推移(市内全体)



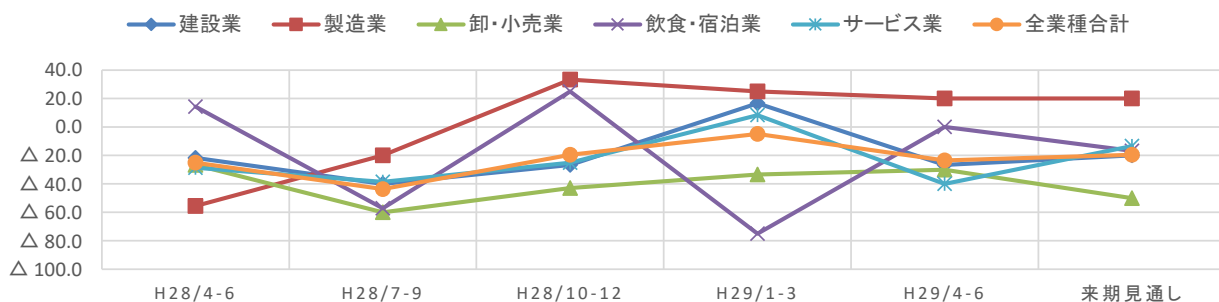
<コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で△33ポイント悪化。特に卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しは、全業種で11.2ポイント改善を予想しているが、卸・小売業は、依然として厳しい予想をしている。

<地区別：水沢地区>



業種別採算の推移(地区別)



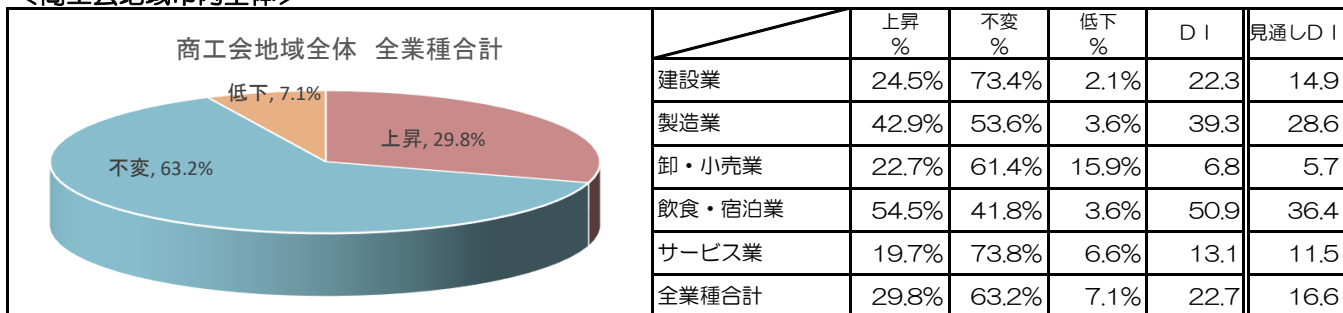
<コメント>

当地区の採算は、前年同期と比較して、全業種で△23.5ポイント悪化。業種別に見ると製造業のみ好転しているが、飲食・宿泊業は不変で他業種は悪化しており、厳しい経営状況である。来期見通しでは全業種で△19.6ポイント悪化の予想をしており、特に卸・小売業は△50ポイント悪化と厳しい予想をしている。

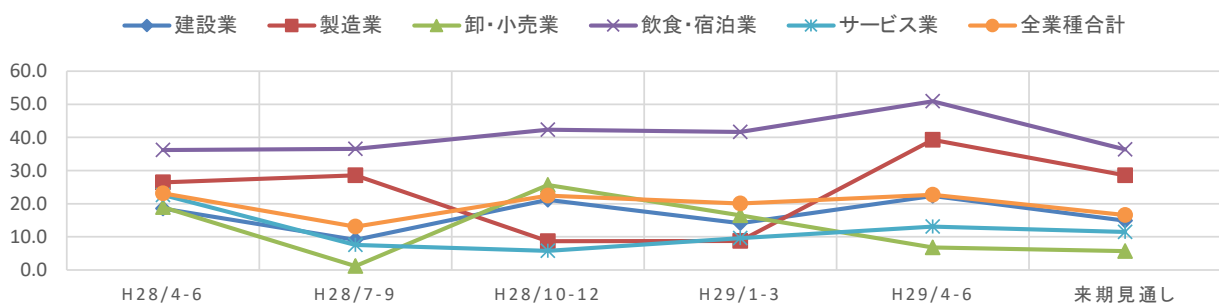
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



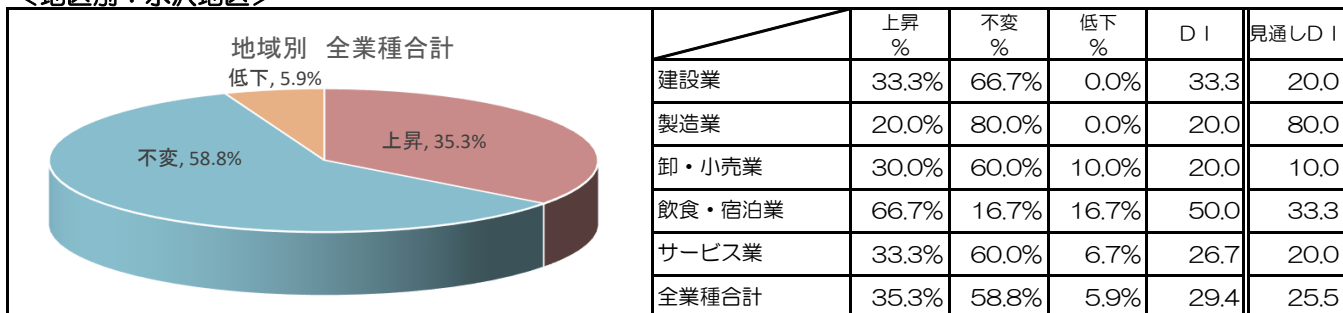
業種別仕入単価の推移(市内全体)



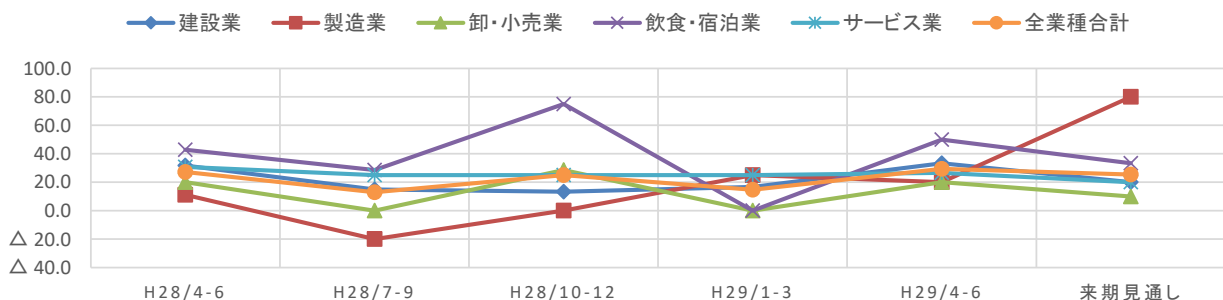
<コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で22.7ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

<地区別：水沢地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



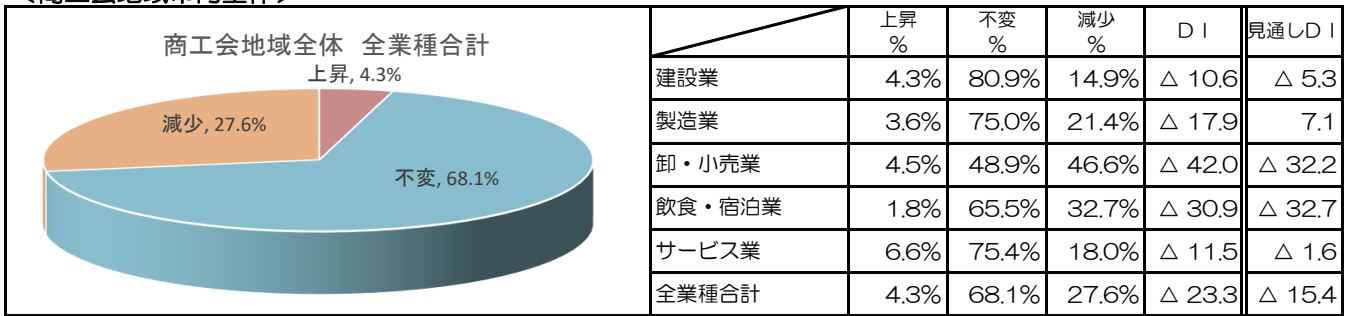
<コメント>

当地区の仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で29.4ポイント上昇。飲食・宿泊業及び建設業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、25.5ポイントの上昇を予想しており、特に製造業及び飲食・宿泊業での上昇予想が目立つ。

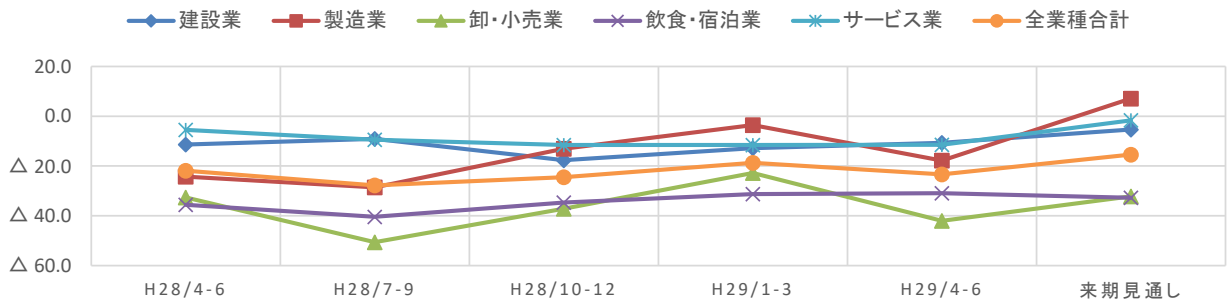
4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



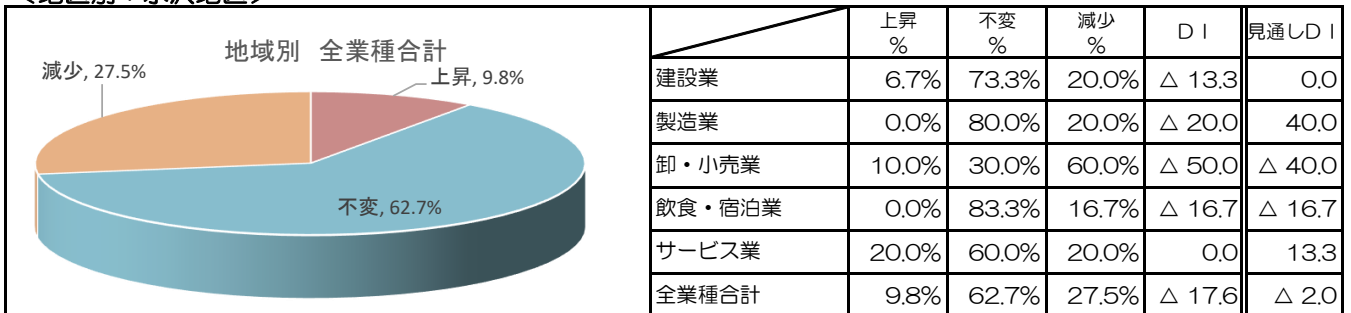
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



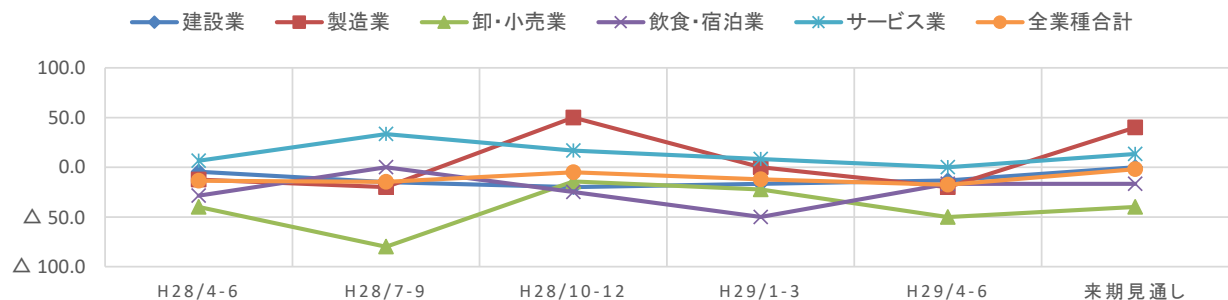
<コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△23.3ポイント低下。来期見通しは、全業種では上昇傾向であるが、飲食・宿泊業は減少傾向と厳しい見方をしている。

<地区別：水沢地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



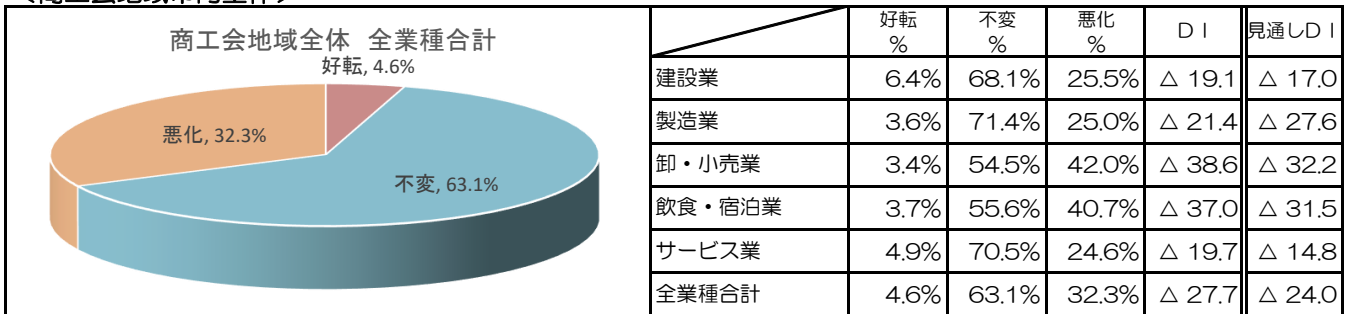
<コメント>

当地区の販売単価は、前年同期と比較して、△17.6ポイント減少。業種別に見るとサービス業以外は減少傾向に有り、卸・小売業の減少が△50ポイントと減少幅が大きく、販売（客）単価が伸び悩んでいる。来期見通しは、全業種で改善傾向に有り、販売（客）単価の上昇が望まれる。

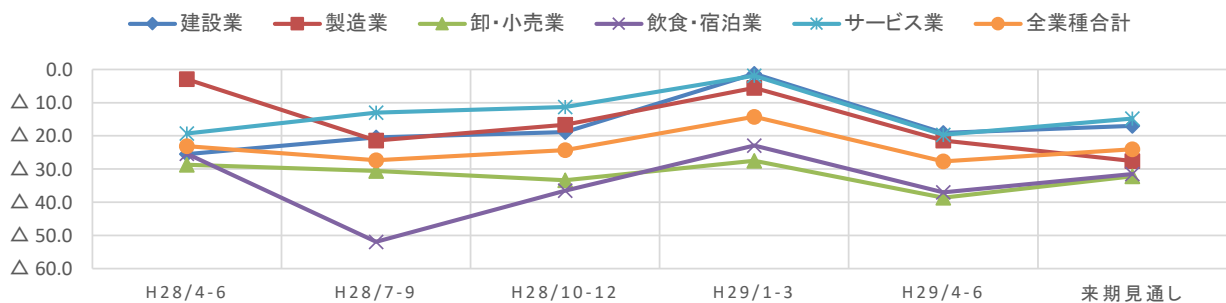
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



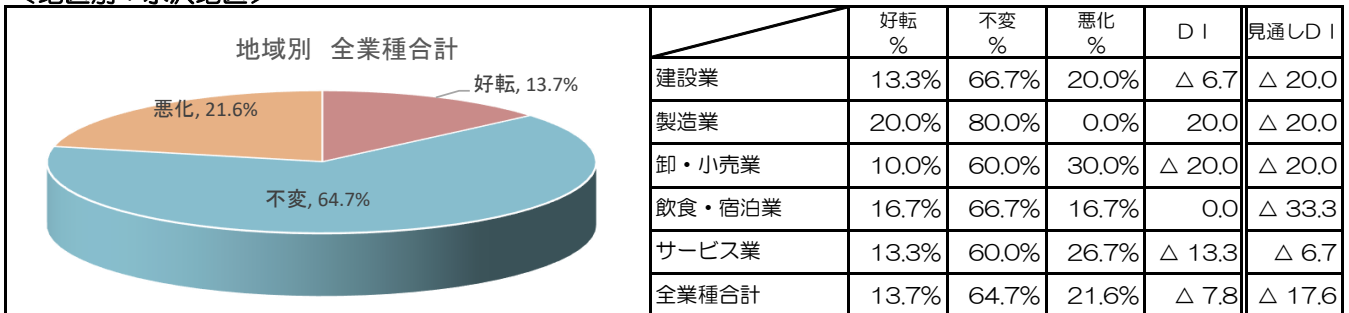
業種別資金繰りの推移(市内全体)



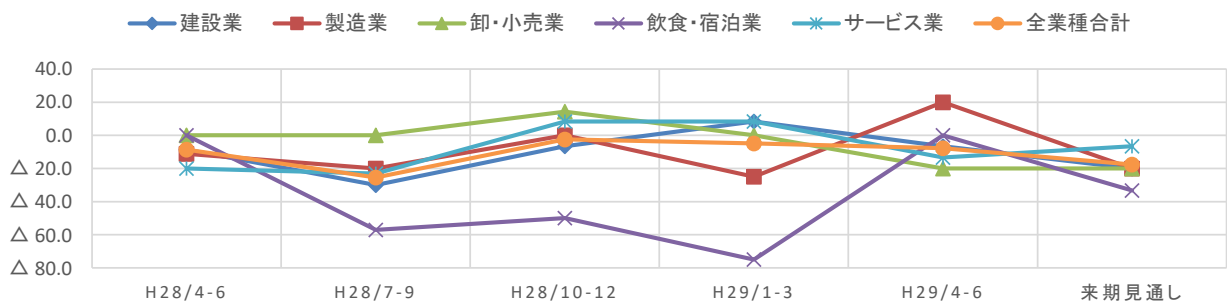
<コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△27.7ポイント悪化。特に、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、この傾向は変わらない。

<地区別：水沢地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



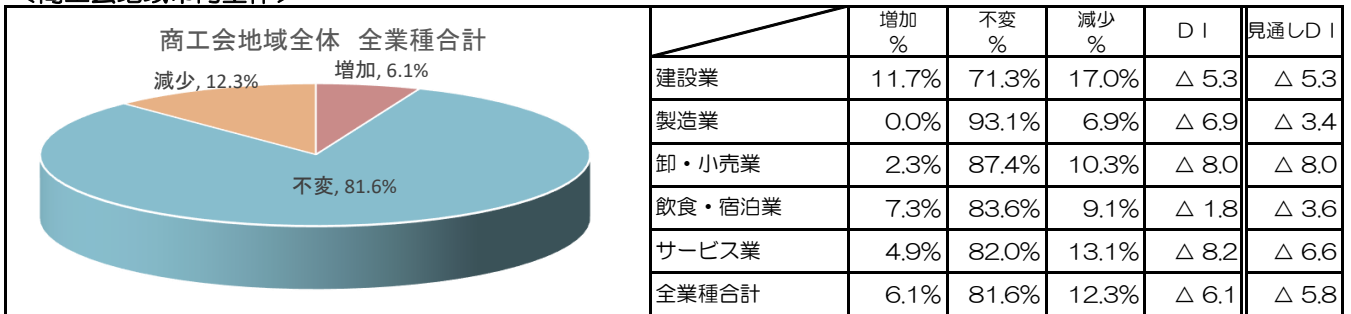
<コメント>

当地区の資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが△7.8ポイント悪化。今後の見通しでは全業種で△17.6ポイント悪化の予想であり、資金繰りの相談等について、マル経融資斡旋等による対応をする等して金融支援をしていきたい。

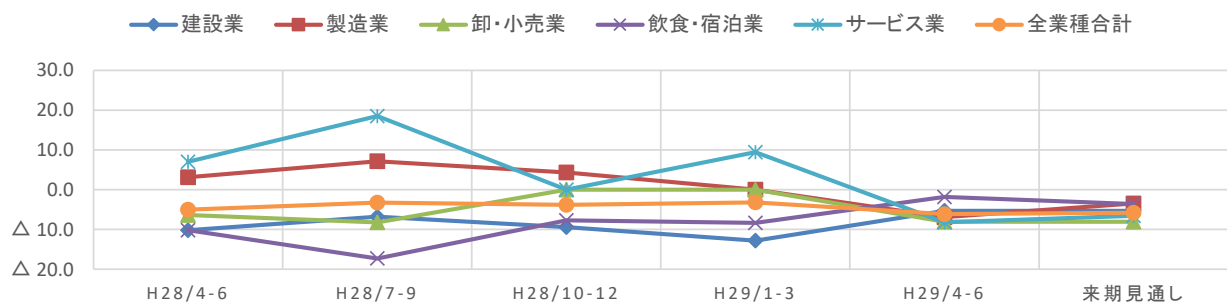
6. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



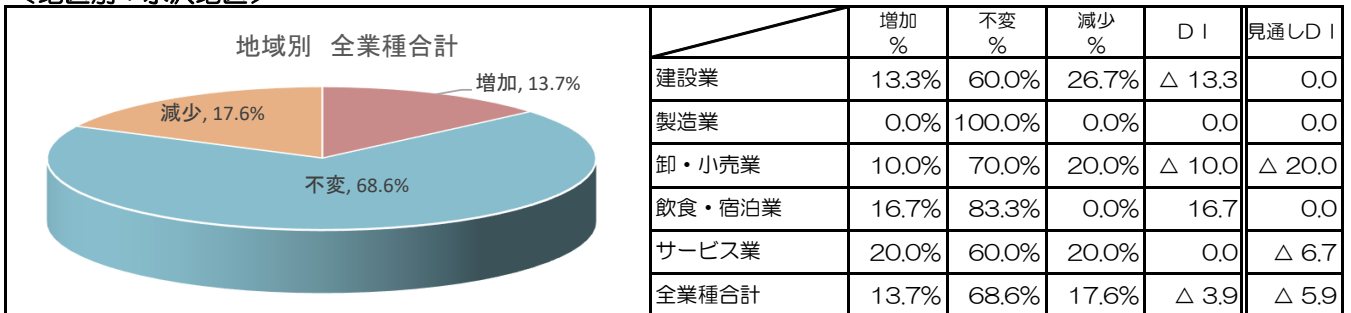
業種別従業員数の推移(市内全体)



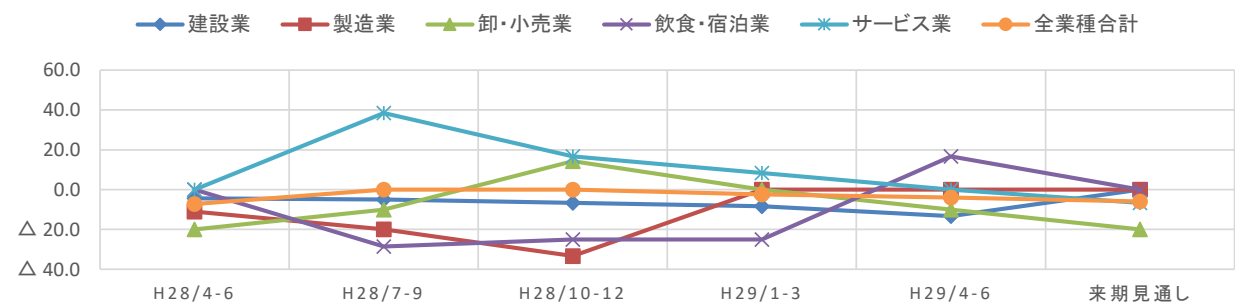
<コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△6.1ポイント減少。来期見通しも同じような傾向である。

<地区別：水沢地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



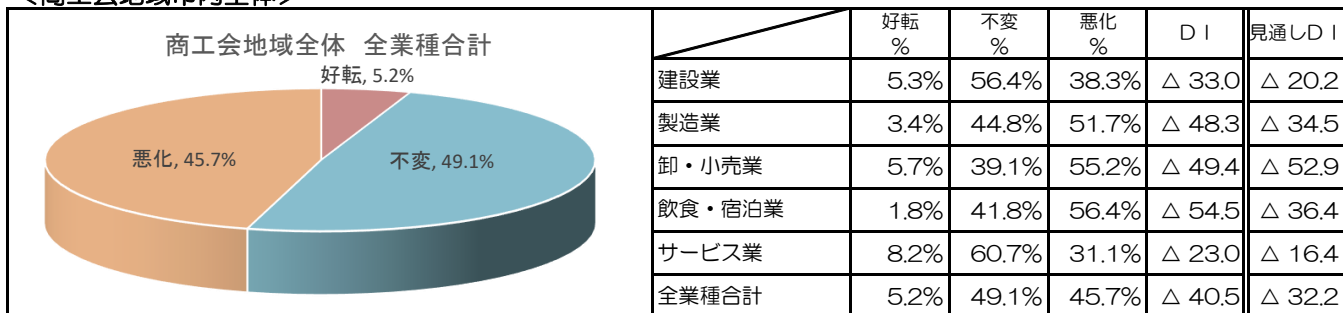
<コメント>

当地区の従業員数は、前年同期と比較して、全業種で△3.9ポイント減少しているが市内全域同様に不変基調である。来期の見通しについては、全業種で△5.9ポイント減少と業種によってバラつきがあるものの、同じような傾向である。

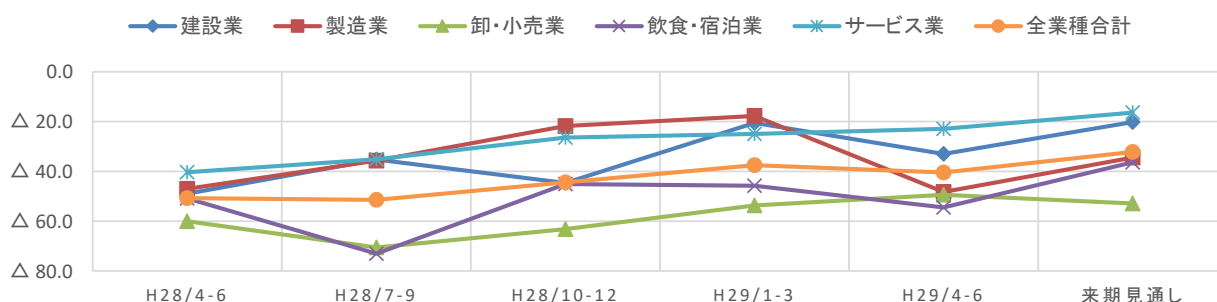
7. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

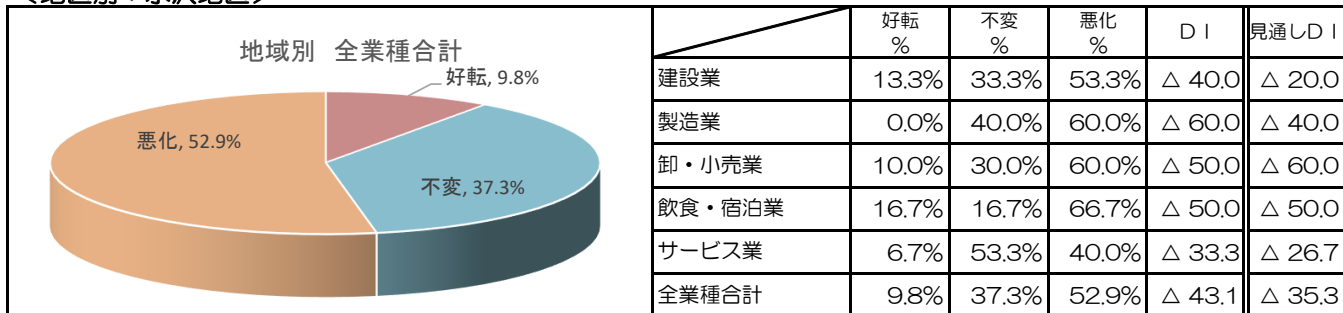


業種別景況判断の推移(市内全体)

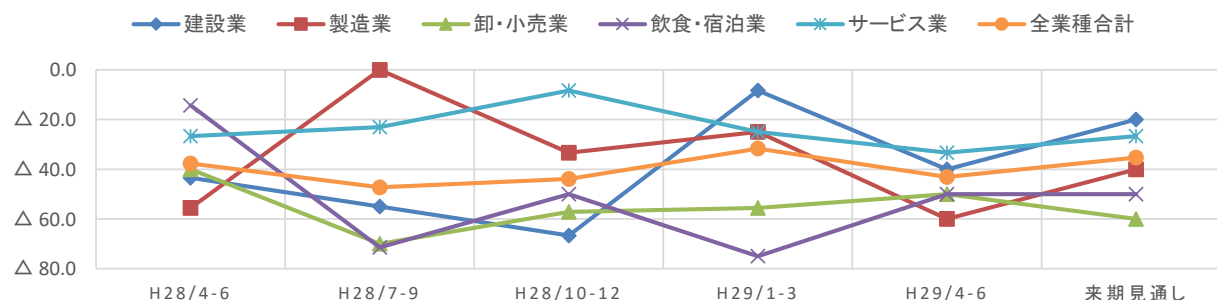


<コメント> 景況は、前年同期と比較して、全業種で△40.5ポイント悪化。製造業及び卸小売業並びに飲食・宿泊業の半数以上が悪化と回答している。来期見通しは、全業種で8.3ポイント改善予想であるが、卸・小売業では△3.5ポイント悪化を予想している。

<地区別：水沢地区>



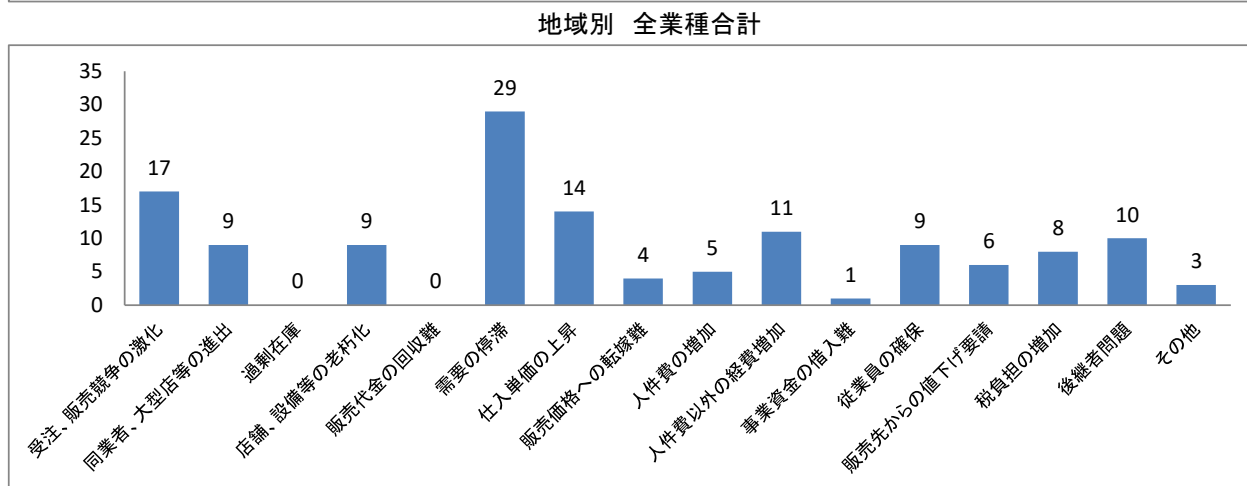
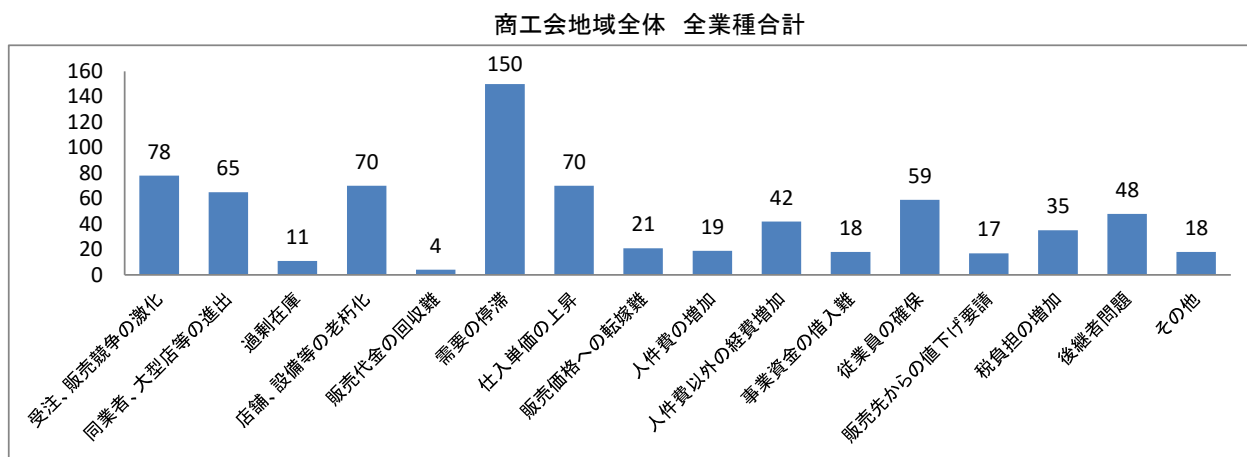
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

当地区の景況は、前年同期と比較して、全業種で△43.1ポイント悪化。需要の停滞と相まって厳しい景況判断となった。来期の見通しは、全業種で△35.3ポイント悪化の予想をしており、厳しい経営環境である。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月



<全域コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となり、前回調査の1位、2位は、今回も変わらなかったが、3位「従業員の確保」は6位となった。

<当地区コメント>

当地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」となった。前回調査との比較では、1位と2位が入れ替わり、4位であった「仕入単価の上昇」が3位となった。

9. 地区全体の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」が△33.3ポイント減少し、「採算」が△26.7ポイント悪化している。また、「受注単価」は不変基調であるが「仕入単価」は33.3ポイント上昇しており製造原価の増加により、利益額の確保に苦慮している状況が伺える。来期の見通しでもこの傾向は続くと思われる。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「後継者問題」3位が同数で「受注、販売競争の激化」「従業員の確保」「税負担の増加」となっている。事業承継を含めた人材の確保が必要となっている。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」共に20ポイント増加・好転している。「販売単価」は不変基調で「仕入単価」は20ポイント上昇しているが、採算等に影響しない範囲と考えられる。来期の見通しでは、「売上」「採算」共に増加・好転を示しており、若干の改善の兆しが見られるものの景況判断は悪化の見通しと厳しい見方となっている。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「受注、販売競争の激化」となっている。

【卸・小売業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」「販売単価」減少・悪化となっており、「景況判断」も△50ポイントと悪化しており、厳しい経営状況となっている。来期の見通しでは、「売上」「採算」「販売単価」は減少・悪化と予想しており、改善の兆しが見られない。経営上の問題点として1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店の進出」3位「店舗・設備の老朽化」で、需要が低迷する中、大型店への消費の流出が見取れる。

【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」が16.7ポイント増加しておりプレミアム商品券の利用とGWの大型連休等でお客様が増加したと思われる。一方で「仕入単価」は上昇しており、利益額の確保に苦慮している状況である。来期の見通しでは「売上」は改善傾向であるが、その他の項目では地域全体と同様に厳しい見通しとなっている。経営上の問題点では、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」と外部要因を課題に挙げている事業所が多い。

【サービス業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」が△26.7ポイント減少し、「採算」が△40ポイント悪化となっており、「景況判断」も△33.3ポイント悪化と、厳しい経営状況となっている。来期の見通しでは不変基調であるが、若干の改善の兆しが見られる。経営上の問題点として「需要の停滞」を挙げる事業所が多く、地域経済の縮小により厳しい経営状況となっている。